



第7章

計画の目標値

- 1 目標設定の考え方..... 118
- 2 目標指標及び目標値の設定..... 118
- 3 期待される効果..... 120



第7章 計画の目標値

1 目標設定の考え方

本計画の取組の進捗状況を分析及び評価し、適切な進行管理を行う観点から、客観的かつ定量的な指標として、以下の考え方に基づき目標値などを設定します。

- 「第5章 誘導施策」に定めた6つの誘導方針に基づき、その妥当性や進捗状況を分析及び評価するための目標指標及び目標値を設定します。
- 誘導方針や関連する施策の展開により期待される複合的な効果を把握するため、総合的な目標指標・目標値を設定します。

2 目標指標及び目標値の設定

「1 目標設定の考え方」を踏まえ、次のとおり、誘導方針ごとに目標指標及び目標値を設定します。

(1) 鉄道駅周辺における都市機能の維持・誘導

都市機能誘導区域において、将来にわたり誘導施設を維持・誘導するため、「都市機能誘導区域内に立地する誘導施設数」を目標指標とします。

評価指標	基準値 (令和5年度)	目標値 (令和25年度)
都市機能誘導区域内に立地する誘導施設数	55施設	55施設以上

(2) 良好な居住環境の維持・誘導

分譲マンションが管理不全に陥り、居住者のみならず周辺の住環境へ影響を及ぼすおそれがないよう、良好な居住環境を維持・誘導するため、「マンションの適正管理届出率」を目標指標とします。

評価指標	基準値 (令和5年度)	目標値 (令和25年度)
マンションの適正管理届出率	67%	100%



(3) 拠点への公共交通の利便性向上

所沢市地域公共交通計画に基づき、地域特性に応じた公共交通の利便性の向上を図り、人口減少下においても持続可能な公共交通を目指すため、「公共交通の年間利用者数」を目標指標とします。

評価指標	基準値 (令和4年度)	目標値 (令和25年度)
公共交通の年間利用者数 (路線バス・ところバス・ ところワゴンの合計)	8,808,842人	8,810,000人以上

(4) 交流が生まれ、歩きたくなる街なかの創出

多様な人々が交流し、居心地がよく歩きたくなる街なかを創出することで、回遊性を高め、歩くことによる健康づくりを目指すため、「1日の平均歩行時間が30分以上の人の割合」を目標指標とします。

評価指標	基準値 (令和3年度)	目標値 (令和25年度)
市民意識調査による 「1日の平均歩行時間が 30分以上の人の割合」	60.2% (注)	60.2%以上

(注)「30分～1時間未満」及び「1時間以上」と回答した人の割合の合計値

(5) 身近にみどりが感じられる空間の保全・創出・活用

身近なみどりの保全・創出に向けた各種施策により、街なかのみどりや農地・樹林地が増加することを旨とするため、「みどりの保全」を目標指標とします。

評価指標	基準値 (令和5年度)	目標値 (令和25年度)
みどりの保全面積 (都市緑地・都市公園・ 生産緑地・保全緑地など)	260ha	260ha以上



(6) 災害に強い街づくりの推進

耐火性能の高い建物の建築・建て替えを促進するとともに、防火・準防火地域を指定するなど、火災による被害の軽減を図り、災害に強い街を目指すため、「木造密集市街地の改善・解消」を目標指標とします。

評価指標	基準値 (令和 5 年度)	目標値 (令和 25 年度)
木造密集市街地の改善・解消	—	5 地区

3 期待される効果

人口減少・高齢化が進む中で誘導施策をはじめ、関連する各種施策と連携し、展開を図ることにより期待されるコンパクト・プラス・ネットワークに係る複合的な効果として、「居住誘導区域内の人口密度」及び「公共交通利用圏域の人口割合」を総合的な効果指標及び目標値とします。

効果指標	基準値 (令和 4 年度)	目標値 (令和 25 年度)
居住誘導区域内の人口密度	114.0 人/ha	110.0 人/ha 以上

効果指標	基準値 (令和 3 年度)	目標値 (令和 25 年度)
公共交通利用圏域の人口割合	91.1%	91.1%以上

